

鶴岡市障害者地域自立支援協議会だより

No.18

障害福祉サービス事業所バザー、 まぐみで市 開催しました！

しごと部会

10月21日(土)、庄内観光物産館ふるさと本舗を会場に9事業所参加のもと、バザーを開催しました。台風が迫る中、天候が心配されましたが、当日はポカポカ陽気に恵まれ、会場では秋の大感謝祭も同時開催で盛り上がりました。これまで各事業所で様々なイベントへの出店実績がありますが、このバザーは工賃向上・障害理解啓発の一環で「しごと部会」としての開催です。参加事業所と開催準備を重ね本番を迎え、事業所の看板商品をお客様と交流しながら販売されていました。ハキハキ堂々、時にはにかみながら…。

呼び込みに才覚を見出した利用者が現れたり、ディスプレイ方法や商品についての情報交換もできたと



<目次>	P1	障害福祉サービス事業所バザー 「きてみて市」開催！！
	P2-3	部会活動報告
	P4	リレートーク (もみの木)

の感想もありました。物産館様からも障害のある方の就労支援を応援したいとの声、継続開催についても提案いただきました。部会では引き続きバザー開催や企業とのマッチングも模索していきます。参加協力下さった皆様お疲れさまでした。ご購入いただいた皆様ありがとうございました。



★参加事業所 (五十音順) ★

愛光園ワークセンター大山・いなほ作業所・かたぐるま・工房せい・作業所月山・羽黒山ぶしいたけファーム・もみじが丘・もみの木・リーふ



日めくりカレンダー組立業務、承りましたぁ！

来年の予定も耳にするようになった今日この頃、日めくりクーポン付きカレンダー組立業務の話が舞い込みました。「鶴岡賑わい研究会」様より合計 3,000 部依頼があったもので市内B型事業所へ提案、7事業所より協力いただきました。会代表の阿部等氏(阿部久書店)は、部会にて講師をされており、部会を契機に「障害ある方の就労」に強い関心をもっていただき今回の話に繋がったものです。完成品は11月から市内店頭に並び多くの方が手にされています。めくるたびにクーポンでのお得感・利用者の頑張りに触れてはいかがでしょうか。

※販売店：各市内書店・クーポン参加店舗

※問合せ先：阿部久書店 ☎22-0220

部会活動報告

平成 29 年度の活動方針・活動予定

相談支援部会

相談支援部会では、9つの事業所・事務局が協働し、ニーズの把握・相談支援体制の質の向上に向けた活動を展開しています。

ニーズの把握については、日頃の相談支援の中から特に「行動援護」サービスの必要性が顕在化していることから、対象者と想定される方の見込量の検証、利用拡大に向けた周知方法の検討を進めています。市内には「行動援護」サービスがないために、多くの事業所から取り組んでもらえるよう、分析・考察した結果を公表していく予定です。

相談支援体制の質の向上については、「基幹」と「特定」事業所の位置付け・役割について共有し、それだけではなくケース共有や課題検討を容易にすべく「ケース共有シート」を作成しております。同行訪問や事例検討、日頃からの情報共有を通じ、一人職場のフォローや疑問・不安の解消を図っています。

また、下記情報交換会や研修会への参画により日頃のケースワークの振り返りや自己研鑽の機会を設け、相談支援専門員が互いに支え合いながら、生きた相談支援体制の構築を目指しています。

◇庄内圏域相談支援連絡会開催！

庄内圏域の相談支援事業所・行政機関（県・2市3町）が顔の見える関係性を構築する取組みとして、去る11月16日、地域産業振興産業センター（マリカ）を会場に情報交換会が開催されました。2時間弱という限られた時間でしたが、相談支援業務を行う上での課題の抽出など、相談支援専門員同士が情報を交換する良い機会となりました。参加者からは、人材育成の在り方・サビ管との関係性・支給決定プロセス・家族支援・他分野との連携（教育・医療）等々活発な意見がださ

鶴岡市障害者地域自立支援協議会では、障害福祉分野の課題について、専門的に対策を協議するため、4つの専門部会を設置しています。

ここでは、各部会の活動の進捗状況及び29年度の活動についてお知らせします。

れました。今回出された意見は今後、県の自立支援協議会相談支援部会に報告する予定です。地域をどうデザインしていくか…人材育成をどうするか…夢も課題も目の前には沢山！！

◇精神障がい者相談体制支援事業研修（庄内）も同日・同会場で開催！

山形県精神保健福祉士協会主催の研修会が開催され、41名の参加者があったなか相談支援部会も参画してきました。講師である公德会佐藤病院の精神保健福祉士牧野直樹氏からの「障害特性の理解と支援のコツ」と題された講演、その後のワールドカフェを通じ、学びを深め、日頃の想いを参加者同士で共有し、今後の支援に活かすという貴重な時間になりました。



子ども部会

子ども部会では、障害のあるお子さんのことや家族が抱えていることなどを地域住民の方に広く知っていただくための啓発活動を行っています。

今年は障害の特性についてより身近に、より高い認識に導くことを目的に、9月8日（金）に「地域社会への障害理解啓発を考える研修会」と題し、花笠ほーぷ隊（知的障がい者理解啓発隊）をお招きして研修会を開催しました。研修会には20名の主任児童委員の方にご参加いただき、花笠ほーぷ隊によるご家庭でのエピソードを交えた



講話の他、趣向が凝らされた疑似体験をし、障害のあるお子さんの個性的な行動や感覚を深く理解

することができました。参加した方からは、「これから周囲にも伝えていって地域で一人でも多く、障害の理解者が増えてくれるようにしたい。」との声もあり、この研修会が理解の輪が広がるきっかけとなったと感じました。

また、今年度の「子ども版障害福祉のしおり」の改訂作業が9月に終了しました。今後も身近な地域で活用、利用できる、障害福祉制度、サービス、一般的な子育て施策の中で利用できる内容等の情報を追加していきたいと思います。



発達障害部会

鶴岡市では、今年6月から7月にかけて、第5期障害者福祉計画策定等のために「障害者アンケート調査」を実施しました。それを受け、発達障害部会では、同調査の回答者の中から「発達障害」にチェックを入れた方を抽出し、「障害者アンケート調査報告書（発達障害者版）」を作成、10月26日（木）に開催された部会でその報告と意見交換を行いました。その結果、発達障害のある方々が自分らしく、社会で暮らしていくためには、相談窓口や情報提供の充実、障害理解や交流等の促進、就労に向けた支援や雇用環境の整備、「一人でも暮らしていけるだけの収入」の確保、移動手段の充実等に向けた支援策が必要とされていることが明らかになりました。

今後は、障害児アンケート調査でも同様の整理を行うとともに、障害児者それぞれのアンケートで浮き彫りになった取り組み課題を「発達障害部会で検討すべき課題」「他の部会と連携して検討すべき課題」「自立支援協議会全体で検討すべき課題」等に分類する作業を進めていきたいと考えています。

INFORMATION

研修会・講演会のお知らせです。たくさんのご参加をお待ちしております。

障害者虐待防止研修会

- 日時 平成29年12月21日（木）
17:00～19:00
- 場所 鶴岡市総合保健福祉センター
にこふる 3階大会議室
- 内容 講義及びグループワーク
- 講師 工房せい理事長 佐藤徳男氏

映画『みんなの学校』

上映会及び講演・トークセッション

～上映会～

- 日時 ①平成30年2月2日（金）
18:30～20:20
②平成30年2月3日（土）
10:00～12:00
- 場所 荘銀タクト鶴岡 小ホール
（鶴岡市新文化会館）
- 申込 障害者相談支援センター、市役所福祉課、各地域庁舎市民福祉課で整理券配布
（受付開始 平成30年1月4日8:30～）

～講演会・トークセッション～

- 日時 平成30年2月3日（土）
講演会 13:30～14:30
トークセッション 14:40～15:40
- 場所 鶴岡市総合保健福祉センター
にこふる 3階大会議室
- 申込 障害者相談支援センターへ申込書を提出
（受付開始 平成30年1月4日8:30～）

※詳細は鶴岡市ホームページや映画『みんなの学校』公式サイトをご覧ください。

<第6回>

想いをつなぐ!

日々の事業所展開で思うこと、部会・個別支援会議に参加して感じたこと、今後活かしていきたいこと等を寄せていただくコーナーです。

リポート



社会福祉法人かくほう
就労継続支援施設もみの木
サービス管理責任者 五十嵐美紀

～共に生き 共に育ち
共に助け合う～

「社会福祉法人かくほう」は平成27年9月に設立し、平成28年11月に「就労継続支援施設もみの木」を開所して約1年になります。「農業」に特化した就労を支援する事業所として、地域の農業者が高齢で耕作できなくなった耕地及び樹園地や季節的に利用していないビニールハウスを借り受け、年間を通して農産物の生産を行っています。生産活動（種蒔き、草取り、収穫等）と出荷、販売と一連の作業の中で、利用者は自分に合った作業を無理なく、安全を優先して働くことの楽しさを実感してもらっています。

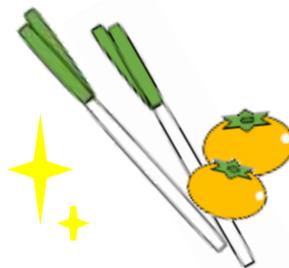
販売面では、従来の販売先に加え、定期的に職場を訪問したり、イベントへの参加による移動販売・直売も行っております。直売では地域の方々が買いにいらっしゃることも多くなり、徐々に地域の理解や協力が得られてきていると感じています。利用者自ら生産した新鮮で安い農産物を、直接消費者と接しながら販売することは、自立した生活に向けた効果が期待されるし、地域の理解を得る絶好の機会になっています。



最近ではみんなで協力しながら芋掘りをしてきました。外に出て土に触れたり、日光に当たったりすることは、生命の“力”を感じ、元気の源になります。

また、新しい事業所であることから、開所当初に地域の方々から集っていただき、講師を招いて「もみの木健康教室」を開催し、事業所を理解していただくとともに、冬期間の運動不足解消ができたことと好評でした。

今後は、利用者が穏やかに過ごせる居場所となるような環境づくりと、農業生産と販売を通して社会とのつながりが構築されるようにしていきたいと思えます。



【就労継続支援施設もみの木】

〒997-0141

鶴岡市大塚町12-30

TEL: 0235-64-8885

編集後記

今年も残すところあとわずかとなりました。今年はやってみて市や民生委員向けの講演会が開催されるなど、地域における障害理解が深まった年だと思います。福祉は日々勉強の毎日ですが、多くの人から「鶴岡市に住んでよかった」「ありがとう」と言ってもらえるよう、来年も精進してまいります。（編集者 YDM）